



えん どう はる こ 議員 遠藤 八ル子



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

認定こども園への移行と子育て支援対策の充実を

村中町長

利用者の声を伺いながら 関係機関と連携し必要な対策を行う

■質問・遠藤議員
認定こども園は、共働き世帯の増加などに伴う待機児童の増加や少子化といった社会問題を解消するため、国による「幼保一元化」政策により2006年に創設された新たな保育施設です。
質問①は、認定こども園は3歳以上の子どもであれば保護者の就労の有無に関わらず入園することができるようになります。なお、「認定こども園教育・保育要領」を踏まえ、3歳以上の保育には保育士資格とあわせて、幼稚園教諭免許の併有が望ましいとされています。くるみ保育園においても、すでに教育との一体的な保育を行い、保育士のほぼ全員が幼稚園教諭免許も保有していることもあり、認定こども園となっても保育の内容

が大きく変わるものではありません。質問②は、現時点では開催する予定はありませんが、認定こども園のスタートに際しては、広報紙等で周知を行っていきます。
質問③は、設計段階から町の建設課職員も関わりながら、保護者や保育現場の意見を参考に、各道路の状況や冬の除雪対応などを考慮した中で駐車場内・外の導線を含め、より安全なルートの確保等について協議・検討を行ってまいります。実際に登園が始まった折には、利用者の声を伺いながら必要な対策を行っていきます。また、今後は「キッズゾーン」の設定も視野に管轄する警察署とも連携を図り、交通安全対策に努めます。
■遠藤議員 すでに旭川市や東神楽町では「キッズゾーン」が設定されています。全国でも園児の安全を守るために公安委員会と協議をして進めています。車の導線については、開園してから決定するのでは遅すぎると思います。来年の4月を待たずに実施する考えがあるのかお聞きします。
■村中町長 保育園とも協議し、開園前に保護者の方々に通ってほしいルートをお伝えすることで、安全が確保できると思います。

■村中町長 本町の単身高齢者は、現在350人を超えており、全国同様に高齢者全体の4分の1を占める状況にあることから、地域包括支援センターを中心に、戸別訪問のほか社会福祉協議会や民生委員、民間事業者など関係機関との連携を図りながら、生活実態の把握も含めた正確な情報の集約に努めています。
単身の高齢者の方には、必要に応じて緊急通報システムを設置しており、今年度からは新たに見守り機能として自宅トイレのドア部分にセンサーを取り付け、24時間トイレの使用がなければ関係機関に連絡が入る「ライフリズム」も順次導入していく予定です。



一般質問 ズバリ！ ここが聞きたい

綿々と続く日本古来からの道徳を教育現場に

北川教育長

社会性や豊かな人間性を育むため 道徳教育の推進に努める

■質問・植西議員
日本人として誇りを持つこと、正しい情報を選択できるようなことを義務教育の外郭的な目標にすべきではないかと考えています。
子どもたちがこの国に生まれて良かったと思える教育こそ、本当に大切です。教育長はどのように道徳教育を進めようとお考えなのか伺います。
■答弁・北川教育長
現行の道徳教育を進めていくことが、「日本人としての誇りを持つこと」や「この国に生まれて良かったと思える教育」を実践できるものと考えています。
■植西議員 片方で良いことを教えても、片方で自虐史観的なことを教えることで、子どもにとって日本は悪いことをしたのでないかという印象を持ってしまいます。自虐的な歴史を教えているのではありませんか。
■北川教育長 歴史的な事実を伝え、子どもたちが学び、考えることが歴史教育であり、また道徳教育にも繋がると考えています。

■植西議員 法令で歩道幅員を常に適正に保つことが明記されており、街路樹などを撤去することで歩行者の安全や快適性を保つことができます。
歩道幅員拡張の必要性も含め、歩道を適正に管理することについて、町長の考えを伺います。
■村中町長 街路樹には、良好な景観形成や環境保全などの効果がありますが、除排雪作業に支障をきたすことや交差点付近の視界が悪くなること、また、ベビーカーやシニアカーの利用者にとって、街路樹が設置されている行政区長に相談し、街路樹の撤去についてご理解をいただいたところですが、このことを含め、町議会産業建設常任委員会において街路樹の撤去について協議をしたところ、景観形成の大切さや安全確保の必要性、維持管理の効率化など、様々な議論をいただいたため、街路樹のあり方について、引き続き検討します。
現状では、歩行者などの安全に支障をきたすような問題はないと考えているため、歩道幅員の計画はありませんが、公共施設の建設

や住宅団地の造成などによる交通量の変化もふまえ、歩行者が安全・快適に通行できるよう適切な管理に努めます。
■植西議員 街路樹について、住民からのご意見やご要望を確認されていますか。
■村中町長 街路樹については、該当する区長さんにお話をさせていただき、撤去について一定のご理解をいただいたと認識しています。
■植西議員 街路樹の管理については十分だとお考えですか。
■村中町長 街路樹が折れたままになっているものや、下草の管理ができていない状況もありますので、十分に管理が行き届いているとは言えない状況です。
役場前町道 6号道路



役場前町道 6号道路



うえ にし こう いち 議員 植西 浩一

■質問・植西議員
日本人として誇りを持つこと、正しい情報を選択できるようなことを義務教育の外郭的な目標にすべきではないかと考えています。
子どもたちがこの国に生まれて良かったと思える教育こそ、本当に大切です。教育長はどのように道徳教育を進めようとお考えなのか伺います。
■答弁・北川教育長
現行の道徳教育を進めていくことが、「日本人としての誇りを持つこと」や「この国に生まれて良かったと思える教育」を実践できるものと考えています。
■植西議員 片方で良いことを教えても、片方で自虐史観的なことを教えることで、子どもにとって日本は悪いことをしたのでないかという印象を持ってしまいます。自虐的な歴史を教えているのではありませんか。
■北川教育長 歴史的な事実を伝え、子どもたちが学び、考えることが歴史教育であり、また道徳教育にも繋がると考えています。

■植西議員 法令で歩道幅員を常に適正に保つことが明記されており、街路樹などを撤去することで歩行者の安全や快適性を保つことができます。
歩道幅員拡張の必要性も含め、歩道を適正に管理することについて、町長の考えを伺います。
■村中町長 街路樹には、良好な景観形成や環境保全などの効果がありますが、除排雪作業に支障をきたすことや交差点付近の視界が悪くなること、また、ベビーカーやシニアカーの利用者にとって、街路樹が設置されている行政区長に相談し、街路樹の撤去についてご理解をいただいたところですが、このことを含め、町議会産業建設常任委員会において街路樹の撤去について協議をしたところ、景観形成の大切さや安全確保の必要性、維持管理の効率化など、様々な議論をいただいたため、街路樹のあり方について、引き続き検討します。
現状では、歩行者などの安全に支障をきたすような問題はないと考えているため、歩道幅員の計画はありませんが、公共施設の建設

や住宅団地の造成などによる交通量の変化もふまえ、歩行者が安全・快適に通行できるよう適切な管理に努めます。
■植西議員 街路樹について、住民からのご意見やご要望を確認されていますか。
■村中町長 街路樹については、該当する区長さんにお話をさせていただき、撤去について一定のご理解をいただいたと認識しています。
■植西議員 街路樹の管理については十分だとお考えですか。
■村中町長 街路樹が折れたままになっているものや、下草の管理ができていない状況もありますので、十分に管理が行き届いているとは言えない状況です。
役場前町道 6号道路